

|       |   |      |       |
|-------|---|------|-------|
| 授業科目名 | ビジネスアカウンティング論   | 担当教員 | 小畑 克典 |
| 必修の区分 | 選択  |      |       |
| 単位数   | 2 単位  |      |       |
| 授業の方法 | 講義  |      |       |
| 開講年次  | 2 年 第 3 クォーター   |      |       |
| 講義内容  | <p>どのような職種に就くにせよ、現代の経済社会システムの中で何らかの経済活動を行うにあたっては、取引の相手方の実態を正確に把握する必要がある。</p> <p>本講義では、企業が開示する財務諸表をスタート地点として、企業の実態を読み解くための基礎的な知識の習得と、そうした知識を実際にどのように活用した企業分析の実践について学習する。</p> <p>財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書）の基本構造から始めて、基本的な財務分析の手法とその解釈について実例に即して学習する。講義後半では、財務分析から読み取る企業の状態に加えて、必要に応じて非財務情報を分析に織り込むことによって、分析対象企業の経営実態をより手触り感のあるものとして理解するための基本的な実践スキルを身につけていく。</p>  |      |       |
| 到達目標  | <ul style="list-style-type: none"><li>・財務会計や、財務諸表の基本構造・読み方・分析手法を理解すること</li><li>・財務諸表から企業の経営戦略や事業戦略を理解するスキルを身につけること</li><li>・企業が開示する数多の情報の中から、企業分析に必要な情報を抽出するスキルを身につけること</li></ul>   |      |       |
| 授業計画  | <p>第 1 回 イントロダクション 財務諸表の全体像（フロー、ストック、キャッシュフロー）</p> <p>第 2 回 貸借対照表 - 「何をどれだけ持っているか」を見る</p> <p>第 3 回 損益計算書 - 「儲けが出ているか」を見る</p> <p>第 4 回 キャッシュフロー - 「カネが回らなかったら行き詰まる」</p> <p>第 5 回 財務諸表を読む・決算短信</p> <p>第 6 回 財務分析のケーススタディ・基礎編（1）</p> <p>第 7 回 財務分析のケーススタディ・基礎編（2）</p> <p>第 8 回 財務分析で使う様々な指標</p> <p>第 9 回 企業ウェブサイトから財務情報・非財務情報を入手する</p> <p>第 10 回 財務分析のケーススタディ・応用編（1）</p> <p>第 11 回 財務分析のケーススタディ・応用編（2）</p> <p>第 12 回 財務分析のケーススタディ・応用編（3）</p> |      |       |

|                |   |
|----------------|---|
| 事前・事後<br>学習    | 授業のテーマに沿って、課題の提出を求めることがある。課題の提出状況・内容は、成績評価の対象となる。   |
| テキスト           | なし  |
| 参考文献           | 都度指示する  |
| 成績評価<br>の 基 準  | 受講態度（出席、授業中の議論等） 30%<br>宿題・課題・グループワークの提出状況・内容等 30%<br>期末試験 40%  |
| 履修上の注意<br>履修要件 |   |
| 実践的教育          | 経営分野の実務経験を持つ教員が、その実務経験を生かして講義を行うことから、実践的教育に該当する。  |
| 備考欄            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・本講義は、財務・会計に関する知識習得に限らず、財務分析を通じて企業・事業の実態についての洞察力を養うことを目的とする。「ビジネス会計検定 3 級合格」を具体的な目標とする学生は、担当教官に個別に相談のこと。</li> <li>・定員超過の場合、抽選により履修者を選定する。</li> </ul> |